

良き友人

佐伯高等技術専門校の栗林仁さんからリレートークを引き継ぎました，ポリテクカレッジ滋賀の江口藤良です。栗林さんとは訓大の同期で，共に研究課程に進学した仲間でもあります。彼は勉学も熱心でしたが，スポーツはもっと熱心で，当時，お互いに担当の先生の目を盗んでは，よく昼間からテニスをしていました。

就職してからは，彼は北九州，私は香川と離ればなれになり，最後に会ったのは6年前の彼の結婚式でした。それから，毎年の年賀状で子どもが1人ずつ増えていく彼の幸せそうな家庭を見て，うらやましく思う日々が続きましたが，久しぶりに電話で元気な声が聞けたかと思ったら，事業団から県訓へ転職したという知らせと，リレートークを回したとのことでした。

さて，私の最初の勤務地はポリテクカレッジ香川でした。香川ではたくさんの方と知り合うことができ，いろいろ勉強させていただきましたが，やはり，記憶に残っているのはテニスの思い出です。訓大で栗林さんとテニスをしていましたが，人一倍慣性が働く体を持つ私は，いつも負けて悔しい思いをしていました。

そこで，ダイエットも意識しながら短大近くのテニススクールへ通い始めました。スクールで同じクラスになった人は皆結束がかたく，スクール以外でも休みに集まってみんなで練習したり，飲み会を開いたり，とても楽しく過ごしました。私が滋賀へ転職が決まったときは皆で送別会を開いてくれ，ピダ

オレーターまで作ってくれました。

いまでも，テニス合宿するから参加するようにとお誘いのE-mailを送ってくれる，職場以外の性別，年齢を超えた友人には本当に感謝しています。今年はおもうすぐ岡山で合宿が始まるので，とても楽しみです。

職場でも同年代の榎本さん，望月さんとテニスをしていましたが，どちらかというところ，お二人とは仕事帰りの“ゲームセンターのはしご”で遊んだ思い出が印象に残っています。榎本さん，望月さん共にコンピュータマニアのオートバイ・自動車オタクなのですが，特に榎本さんは，思わず「う～ん」と唸るほどの強者です。

次にご紹介するのは，この榎本実さんで，現在は高度ポリテクセンターに勤められています。実は榎本さんは，私の良き先輩です。

私が研究課程の2年生のとき，榎本さんの勤務先が香川短大と決まり，2人でレンタカーに乗って引っ越しをしました。

そのとき記念にと，丸亀城に登りましたが，回りの田んぼの多さに，私はぼつりと「田舎にとばされて大変やなー」と言いました。それが，祟った？のかどうか分かりませんが，1年後には私も香川の地を踏むこととなりました。それから，6年間丸亀城を見上げて生活していましたので，記念の丸亀城はさらに私の心へと焼き付くことになりました。

つれづれなるままに書きましたが，それでは良き友人・先輩である榎本さんお願いいたします。

塗装科14期同窓会

訓大塗装科を卒業して、娑婆に出てからそろそろ21年がたちました。われわれ世代が大学に入学するときは、昭和49年のオイルショックでしたし、卒業の昭和53年には現在と同じように、就職難でした。また、訓練校指導員養成目的で設立された訓大も、われわれの2～3期先輩から訓大卒の訓練校への就職も少なくなり、プール制が実施され空き待ちで希望しても指導員になれない状況でした。

塗装科14期は入学時11名の精鋭で、先生方が10名でしたから、マンツーマンでこんなに恵まれた大学はないとよく授業で聞かされたものです。

確かに私学に遊びに行ったとき、驚いたのは前期

の始まったばかりの講義のためか、100席ほどしかない教室に150人近い学生がおり、立っている学生がたくさんいたことです。

1年のときから、教授がお茶を入れてくれたり、テキーラを飲ませてくれたり、1泊のドライブに行ったりと親密なおつきあいをさせていただきました。いまでも先生方とは、実験に協力や旅行に誘っていただいたりと、公私ともにお世話になっています。私はまだ訓大を卒業していないのかもしれませんが。

昨年、卒業20周年を記念して「塗装科14期同窓会」の開催を思い立ち、本年の年賀状で皆に呼びか



けました。まずは日時と場所の選定ですが、日時は20年が過ぎない3月以内、場所は遠くの人も来やすく値頃なところを探しました。

偶然にも私は相模原に住んでおり、自分が一番訓大に近いことから、校内の仮泊所を考えましたが、食事や宿泊で皆に迷惑がかかるので断念しました。そんな折、市の施設に申し込み、安価な宿泊が可能となりました。学校からも車で5分ほどの「清流の里」で、まだできたばかりの綺麗な施設で開催できました。目の前に相模川が流れ、1階はギャラリー、2階はカラオケルーム、麻雀、卓球、宴会場があり、4階にレストラン。離れに浴場と宿泊部屋。

日時はギリギリの3月20日～21日とし、関係者全員に往復ハガキで連絡するのに現住所不明者続出、確かに14期の「滄水会名簿」に空欄者が多いこと、特に訓練校関係者がなぜわからないのか不思議…。

参加者は、毎年海外旅行に行かれる植木先生、JIS作成に尽力中の吉田先生、漆工出展で活躍される石塚先生、造形工学科で唯一塗装を教える坪田先生。学生では、私にこのリレートークのバトンを渡した

京都の大藪、次にバトンを渡す山形の中村、雨の中バイクで清水から駆けつけてくれた大石っあん、長野で塗料を売っている小沢、愛知でガラスを手がける菅沼君、埼玉のISO9000陣内君、いすゞ藤沢の技術の星松林君、能開大在籍で今も第二塗装科の木村氏、そして地元神奈川で絶縁塗料を作る佐久間の総勢13名が日本中から集合しました。

入浴後宴会となり、吉田先生が持ってこられたアルバムや卒業時作成した文集「転移点」を懐かしく回覧。石塚先生持参の堆黒のネクタイピン、工芸展招待券、釘穴に付けるちえのわの棒をあみだで抽選。宴会後はカラオケルームで他のグループのお姉さま方と歌ったり、部屋で遅くまで近況報告。

皆さん20年前と性格は変わらないが、外見が少し中年らしくなっているだけで、うれしい時間でした。

次回は5年後の開催を約束して解散しました。

現在、職業能力開発総合大学校造形工学科に編入されはしましたが、母校訓大塗装科を大切に思う者らが、増えることがないことが残念です。

平成11年度新規発刊 職業訓練用教科書

安全衛生

A4判 2色刷 定価953円(税別)

職業能力開発促進法に定める普通職業訓練の普通課程に関する規定に基づき編集。

改定に当たり、「公害と健康管理」(社会問題化しているダイオキシン、産業廃棄物等に関する事項)を追録。

お申込み・お問合せは

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-5-11
TEL. 03-5695-0780 FAX. 03-5695-0837

社団法人 雇用問題研究会

